

製品名: CD129 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82035**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間、ネズミ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 57.1kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CD129 |
| 別名 | IL9R; IL-9R |
| 遺伝子 ID | 3581.0 |
| SwissProt ID | Q01113 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CD129 (AA: 余分な 41-270) の精製された組み換え断片。 |

背景

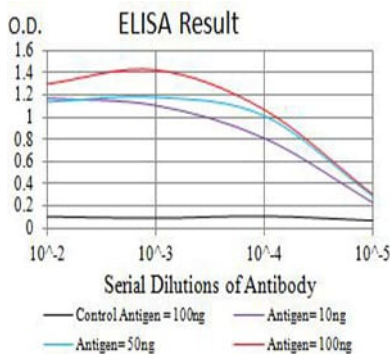
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン9 (IL9) の生物学的効果の特異的に媒介するサイトカイン受容体です。機能的な IL9 受容体複合体は、このタンパク質に加えて、多くの異なるサイトカインの受容体に共通する γ サブユニットである

インターロイキン 2 受容体 γ (IL2RG) を必要とします。この受容体へのリガンド結合は、様々な JAK キナーゼおよび STAT タンパク質の活性化を導き、それらが様々な生物学的反応を引き起こします。この遺伝子は、X 染色体および Y 染色体の擬似常染色体領域に位置しています。遺伝学的研究では、この遺伝子と喘息の発症との関連が示唆されています。9 番染色体、10 番染色体、16 番染色体、および 18 番染色体上に複数の擬似遺伝子が同定されています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが見つかっています。

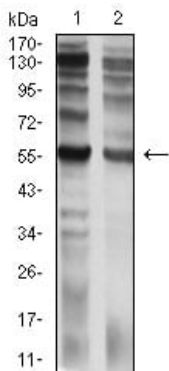
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

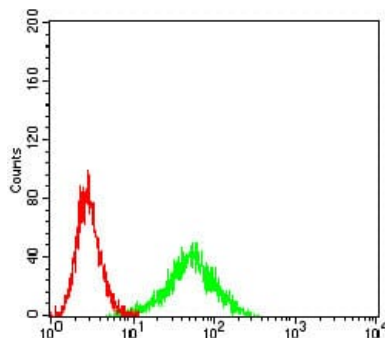
画像データ



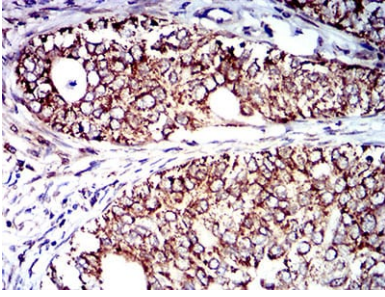
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



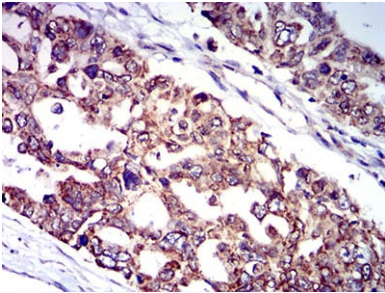
CD129 マウス mAb を用いた C6 (1) および PC-3 (2) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



CD129 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Ramos 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD129 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD129 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。